

平成24年 製造業死亡災害事例

月	業種	職種		事故の型	発生状況の概要
		年齢	経験		
1	1月	輸送用機械器具製造業	輸送用機械器具検査工	はさまれ、巻き込まれ	トラックの製造工場の検査場において、検査作業員が検査済みのトラックを前進させたところ、後輪付近にいた被災者(同僚の検査作業員)が後輪に巻き込まれた。検査は通常一人で行うものであり、被災者が後輪に近づいた理由は不明。
			30歳代		
			15年以上20年未満	トラック	
2	1月	金属製品製造業	作業員・技能者	はさまれ、巻き込まれ	被災者は、コンベヤーとそのコンベヤーの上方に設置されたモーター架台との間の隙間に、巻き込まれた。目撃者はなく、発生状況は不明。
			80歳代		
			40年以上	コンベア	
3	4月	その他の製造業	クリーニング工	はさまれ、巻き込まれ	被災者はクリーニング業の事業場の作業員であるが、朝出勤して機械を起動した後、乾燥機後部のふたに首を挟まれた。目撃者がおらず、詳細は不明。
			50歳代		
			5年以上10年未満	乾燥設備	
4	5月	輸送用機械器具製造業	管理者	交通事故(道路)	被災者は、乗用車を運転して取引先へ行き製品を受け取った後、事業場へ戻るために片側一車線の道路を走行していたところ、被災者の自動車に対向車線に飛び出し、前から来た自動車と正面衝突した。
			40歳代		
			25年以上30年未満	乗用車、バス、バイク	
5	6月	輸送用機械器具製造業	その他の職種	交通事故(道路)	被災者は、出張先へ向かうため、乗用車で高速道路を走行していた。トンネル内で自損事故を起こし、その後、車外に出ていたところ、後方から走行してきた大型トラックにはねられた。
			60歳代		
			5年以上10年未満	トラック	
6	6月	食料品製造業	一般事務員	火災	被災者は、事務所内の置かれていた段ボール製のごみ箱が発煙しているのを発見し、消火活動を行ったが、その際、煙を吸い込んだ。消火不十分なたばこの吸殻をごみ箱に捨てたのではないかと推定される。
			50歳代		
			10年以上15年未満	建築物、構築物	
7	8月	一般機械器具製造業	分類不能	交通事故(道路)	被災者は、自家用の三輪バイクを運転して自宅から出張先へ行き、その後出張先から事業場に向かっていたところ、対向車線を走行していた軽自動車がセンターラインを越え、被災者の前を走行していた乗用車に接触した後、被災者の三輪バイクに正面衝突した。
			50歳代		
			30年以上35年未満	乗用車、バス、バイク	
8	11月	窯業土石製品製造業	車両系建設機械運転者	墜落、転落	被災者は、建設残土を処理するため、重機(車両系建設機械)を使用して盛土作業を行っていた。作業が終了したので重機で盛土から降りたが、盛土に走行跡が付いていたので、それを修正するため再度登ろうとした。パケットのアームを上げた状態で登っていたところ、重機が姿勢を崩して後転し、被災者が車外に投げ出されたところにドラグ・ショベルが落下した。前日の雨で、盛土の地盤が緩んでいたと推定される。
			60歳代		
			25年以上30年未満	その他の建設用機械	
9	12月	輸送用機械器具製造業	作業員・技能者	はさまれ、巻き込まれ	被災者が、午前10時ごろ、大型の金属加工用機械の中に入って蛍光灯の取替作業をしていたところ、別の作業員が機械の起動ボタンを押したため、機械内の作動部分に巻き込まれた。
			30歳代		
			10年以上15年未満	旋盤	